

2016～2017年度

330 複合地区ガバナー協議会

第2回献血・献眼・献腎・骨髄移植委員会

## 議 事 録

日時：2016年12月15日（木）15：00～17：00

会場：330 複合地区ガバナー協議会事務局 会議室

出席者 委員長 金子義人 L

副委員長 湯田啓一 L、佐々木利和 L、藤岡 勝 L、井上 潔 L、丸山泰幸 L

委員 原田貞機 L、 秋山武仁 L、望月憲一 L、村上眞之 L

（委員会出席率62.5%）

日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター事業部献血管理課係長 中村篤典様

公益財団法人 日本骨髄バンク広報渉外部 大久保英彦様

骨髄提供者 佐藤英樹 L（東京町田クレイン LC 所属）

移植患者 佐々木美和様

会議担当者 議長：委員長金子義人 L 司会：井上 潔 L 記録：L 藤岡 勝

委員長挨拶 金子義人 L より 年末多忙の折万障繰り合わせての出席に対して お礼の挨拶があった。

議 事 議長 金子委員長が進行した。

1. 血液協力依頼について 日本赤十字社 中村篤典様  
年未年始血液が大変不足するので協力をお願いしたい旨協力要請があった。  
（別紙要請資料有り）
2. 骨髄バンクの概要について 公益財団法人日本骨髄バンク 大久保英彦様  
用意された資料（骨髄バンクの現況と課題他）により以下の説明があった。
  - \* 骨髄バンクの役割、あゆみ・・・1993年1月初の骨髄移植を実施した。
  - \* 日本人1万人が血液の病気になっている・・・有名人の中にも数多くいる。
  - \* 造血幹細胞移植が必要な主な病気・・・急性骨髄性白血病、急性リンパ性白血病他
  - \* 白血病を治すためには・・・骨髄移植等により不治の病が治るようになった。
  - \* 骨髄とは・・・骨の内部にあるスポンジ状の組織、この中には造血幹細胞という血液をつくるもととなる細胞がある。血液をつくり出す工場なのです。
  - \* 白血病を治すためには・・・骨髄移植、さい帯血移植 他がある。
  - \* ドナー登録・・・18歳～54歳 体重45kg（女性40kg）以上の方、登録は献血ルーム、保健所で出来る。無料。

\*骨髄バンクの現状・・・ドナー登録数 468,433名  
患者登録者数 3,471名  
累計移植例数 20,156例 (2016年11月末現在)

\*ドナー登録受付数は減少傾向にあるなか取り消し数は増加

\*骨髄バンクの今後の課題・・・若年者層のドナーリクルート

ドナー登録者へ提供意思の維持のための働きかけ  
コーディネーター期間の短縮  
登録できる、提供できる環境整備  
抹消血幹細胞移植の拡大

\*ライオンズクラブへの要請したいこと

・・・献血会場での骨髄バンクドナー登録会の併催  
ドナー登録説明員資格の取得  
骨髄バンク講演会場の紹介 例会、学校、企業など  
寄付(周年行事、チャリティイベントなどにおいて)

3. 提供ドナーさんの体験談 東京町田クレイン LC 佐藤英樹 L

骨髄バンクのドナー登録に協力している。  
登録説明員の資格取得者。

登録の理由：ドナー登録の協力者で理解者である。  
健康であった。

提供体験：運が良くて登録して2週間位で適合者が見つかった。  
提供した後、腰が痛かった。

\*登録者をもっと増やす方法を考える必要があると思う。  
システムとして患者1名に対して5名の登録者がつく。

4. 患者さんの体験談 佐々木美和 様

血液検査で病気発見 急性リンパ性白血病。

手足、背中のしびれがあり、痛みがひどかった。

本年7月骨髄バンクを通じて骨髄移植を行った。

手術→成功 まれにみる健康な人→移植後1か月で退院した。

リハビリ中来年4月会社復帰予定。

ドナーは命の恩人だと心から思っている。恩返しを強く思っ、ボランティアを希望。今後事務作業などの手伝いをする事になっている。

5. 質疑応答

体験者2名の話を感じながら聞いた委員より数多くの質問があった。  
最後にお二人の今後の活躍とご多幸を祈念して全員が拍手した。

6. 議事録の確認

7. 次回委員会開催日 2017年 2月15日(水) 15:00~17:00

以上